

小児の感染症の中で、最も重篤なものが、髄膜炎です。髄膜炎は、発症すると治療を受けても約5% (日本で年間約30人) の乳幼児が死亡し、約25% (日本で年間約150人) に知的障害などの発育障害や聴力障害などの後遺症が残ります。

この髄膜炎を引き起こす細菌は、Hib (ヒブ 55%)、肺炎球菌 (20%)、B群溶連菌 (8%)、大腸菌 (2%) で80%以上を占めています。前2者は、ワクチンで予防できる病気なのです。

Hib (ヒブ) って?

細菌であるインフルエンザ菌 (Haemophilus influenzae) b型の略称 (冬場に流行するインフルエンザウイルスとは別です。) 髄膜炎の他、肺炎・敗血症・喉頭蓋炎などさまざまな感染症を起こします。

肺炎球菌って?

主にのどや気道の粘膜に付着して感染を起こし、気管支炎・肺炎・副鼻腔炎・中耳炎・関節炎・骨髄炎・敗血症などを起こします。ワクチンで肺炎球菌による病気の80%をカバーすることができます。

新しいワクチン知っていますか?

Hib ワクチン・小児用7価肺炎球菌ワクチンに公費負担が始まりました

この二つのワクチンは、今までも、接種は可能でしたが、料金も高く、全額自己負担であり普及していませんでした。渋川市・吉岡町・榛東村では、平成23年2月1日から接種費用の全額助成が始まりました。

接種スケジュール

(接種開始の年齢でかわります)

Hib ワクチン

- 生後2か月～6か月 計4回
1回目から4-8週間隔で2回目
2回目から4-8週間隔で3回目
3回目の1年後に4回目
- 生後7か月～1歳未満 計3回
1回目から4-8週間隔で2回目
2回目の1年後に3回目
- 満1歳～5歳未満 1回のみ

肺炎球菌ワクチン

- 生後2か月以上7か月未満 計4回
1回目から27日間以上の間隔で2回目
2回目から27日間以上の間隔で3回目
生後12～15か月に4回目
- 生後7か月以上1歳未満 計3回
1回目から27日間以上の間隔で2回目
2回目から60日間以上の間隔で3回目
- 生後12か月以上24か月未満 計2回
1回目から60日間以上の間隔で2回目
- 生後24か月以上9歳以下 1回のみ

副作用は、接種部位の発赤・腫脹・硬結や発熱などです。

* 一時接種を見合わせておりましたが、このワクチンの有用性は世界的に認められており、日本でもすでに150万人接種されています。専門家の会議でも安全性に問題がないことが確認され再開されました。詳しいことは、かかりつけの先生にご相談ください。

子宮頸がん（HPV ワクチン 16 型、18 型）の予防接種

子宮頸がんは、若い女性（20～30代の女性）に発症率の高い、女性の子宮の入口に発生するがんです。2008年人口動態統計によると、日本では年間約15,000人が診断され、約3,500人が死亡しています。

主な原因は、発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV16型、HPV18型等）です。感染しても90%は自然に排除されますが、10%は感染が持続します。持続感染者の1%は数年～十数年後に子宮頸がんを発症するとされています。

このワクチンは、子宮頸がんを引き起こすウイルスの約60%に有効です。

このウイルスは性行為によって感染するため、HPVへの感染リスクが高まる前の10代での3回接種（初回、1ヶ月後、6ヶ月後）が推奨されています。

副反応・副作用として、発赤・腫脹・発疹・発熱・疲労・筋痛・頭痛・関節痛・胃腸症状などがみられることがあります。

渋川市・吉岡町・榛東村では、平成23年2月1日から中学3年生から高校1年生相当の女子を対象に予防接種費用の全額助成が始まりました。

現在、ワクチンが不足しておりますが、夏ごろには、中学1年・2年生への助成も始まります。



*詳しいことは、かかりつけ医とご相談ください



白クマ先生の小児診療所

日本医師会のHPに「小児診療所を開設しました。」

<http://www.med.or.jp/clinic/>

このサイトは子どもさんの体に何か変化が生じたときの診療所対応策を一緒に考えるコーナーです。子どもさんによく見かける症状やケガなどにどう対応したらいいか示す道先案内に過ぎません。でも「とっさの時の英会話」のようにできるだけ「とっさの時」まずご利用ください。

白クマ先生の子ども診療所

お子様の「いざ」という時にご活用下さい



☆編集後記☆

年2回（4月・11月）発行いたします。

地区内住民の皆様に、適切な医療情報をお届けしていきたいと考えております。

医師会からの情報提供だけでなく、皆様からのご感想・ご提案・ご要望なんでも結構です。右記までご投稿お待ちしております。

医師会HPも、あわせてご利用ください。

（社）渋川地区医師会 渋川市金井356

Tel : 0279-23-1181 Fax : 0279-23-7253

HP : <http://shibukawa.gunma.med.or.jp/>

E-mail : of_shibu@mail.gunma.med.or.jp